

山脇議員の一般質問②



米原市民報

日本共産党米原市会議員
山脇正孝 Tel.52-1093
日本共産党湖北地区議員団
事務局藤田正雄 Tel.55-1128

<http://www.jcp-maibarashigidan.com/>

鳥獣害対策の継続・事業見直しは待たなし

前号の山脇議員の一般質問の続編です。人権教育研究会のあり方と鳥獣害対策のあり方について追及しました。

人権教育研究会運営は

Q、滋賀県人権教育研究会
米原研究会の20万円もの多
額の補助金を相当額まで削
減し、ほかの必要なことに
使用すべきである。

A、支出に関しては、年間
を通じての事務費、研究大
会費や広報発行費として使
われており、年度によって
は、全国人権教育研究大会
の旅費等にも使用されてお
り、適切に処理されている
ものと認識している。

点について質問したい。
A、人権教育の推進の核と
しての仕事をしておられる
ので、教職員の研修・研究
ということでは大事である
と考えている。

近江地域の鳥獣害対策

Q、岩脇や西円寺など多く
の地域でニホンザルの群れ
が畑の耕作物を盗ったり、
民家に入って困っておられ
る。通学児童の安全を脅か
しかねない事態も危惧され
ている。

A、有害鳥獣対策は、集落
全体で環境点検を行い、不
要果樹を撤去するなど、エ
サを作らないことが効果的
です。そこで、市では追い
払い用の花火の無償配布、
電動エアガンや無償貸出
等を行い、支援している。
状況に応じて追い払いや、
箱わなの設置などの対応を
している。

Q、たいへん苦慮しておら
れることは理解している。
是非、パトロールを強化し、
実態調査をこまめにおこな
い、何とかアオサギの害が
軽減できるよう、努めてい
ただきたい。

集落ぐるみ鳥獣害対策支援策

Q、平成30年度で終了する
「米原市集落ぐるみの鳥獣
害総合対策支援事業」の継
続ないし他に代わる対策は
考えているか。

A、平成26年度から平成30
年度で57の自治会等で取り
組まれました。平成31年度
以降については、「農村ま
るごと保全向上対策」が活
用できます。また、獣害防
止柵を新規に設置される場
合は、国や県などの補助金
制度があります。

Q、同研究会を、校務分掌
に組み入れている学校があ
る。指導すべきである。
A、PTA、保護者がとも
に取り組む、研究と実践の
交流の場として、その役割
を果たしてきた組織であり、
学校と一体となって人権教
育を推進していくことは必
要であると認識している。

Q、滋人教米原研究会事務
局が一定時間や一定期間そ
の仕事に専念することは、
職務に当たると言えるか。
A、職務として認識してお
ります。

職務専念義務違反では

Q、一日の大半その仕事に
専念することは、これは職
務専念義務に反する。その

アオサギ対策は

A、アオサギは、鳥獣被害
防止計画において年間70
羽の駆除を計画している。
巣や集団繁殖地が人家に近
い場合などは、猟銃での駆
除ができないことから、電
動エアガンや花火を配布
して追い払いを実施してい
る。

Q、アオサギであるとか、当初予
測していなかった、あるいは
対処できなかったことに
対して、住民が動くという
ことを通して、防衛してい
く方策もあるんだろうと、
そういう意味も含めて、新
しい対策を今年度中に見極
めていきたい。

雑感

議会定例会を見ていた市民から市の不祥事が続く中「もっと執行部との緊張感ある議
会が必要ではないか」との声を聞きました。我々も反省し、議会全体の活性化を期待します。24
日は「滋賀県知事選挙」です。国体問題は今後の県政、特に県財政にとつて重要な問題です。ま
た米原市の財政にも直結する問題です。災害が続く中、原発ゼロの社会を作る上でも、県民の意
思を表明する絶好の機会です。必ず投票に行つて意思表示をしてください。

